

科目	言語文化	単位数	2単位	学年	第1学年	講座	
教科書	新編 言語文化 (大修館書店)		副教材等	新編 言語文化 学習ノート(大修館書店) 常用漢字の級別学習 二訂版 (京都書房)			

学習目標	1 教材の読解を通して言葉と文化に興味を持ち、幅広い知識を身に付けるようにする。 2 時代を超えて親しまれてきた文章や詩歌に触れて表現の多彩さを味わい、共感したり豊かに想像したりできるようにする。
------	---

評価の観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
	社会生活に必要な言語読解力を身に付けるとともに、日本古来の言語文化への理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域で論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、自分の思いを広げたり深めたりしている。	言葉を通して他者や社会に関わったり、言葉が持つ価値への認識を深めようとしていたりしている。 読書に親しむことで言語感覚を磨き、自己を向上させようとしている。

時期	学習計画及び内容		評価方法
1 学 期	4月	言葉の森を育てよう ・日常使っている言葉を見つめ直し、言葉が果たしている役割を理解する。	授業態度 指名音読 学習ノート提出 定期考査 小テスト 振り返りシート 定期考査 ノート提出 夏休みの課題
	5月	古文への招待 児のそら寝 ・いろは歌や古文の冒頭文を音読して響きやリズムを味わう。 ・児と僧たちの行動と心情を読み取る。	
	6月	漢字と仮名の使い分け 訓読のきまり／格言 ・日本語の表記について筆者の主張を理解し、身近な例を調べたり考えたりする。 ・音読や書き下しを通して漢文訓読の方法を学ぶ。	
	7月	水かまきり 読書の広場 春のうた／夏のうた ・格言を読み、古人の知恵や教えを知る。 ・文学作品の描写を味わい、登場人物の人間関係や心理を読み取る。 ・夏休みの課題として、読書感想文または詩歌の創作を行う。	
2 学 期	8月	足し算の文化 ・日本文化の特色を理解し、身の回りの例を探す。	授業態度 指名音読 学習ノート提出 定期考査 小テスト 振り返りシート 定期考査 ノート提出 発表・報告
	9月	徒然草 ・動詞の活用や係り結び等、古典文法の基礎を学ぶ。	
	10月	枕草子 ・随筆から作者のものの見方や感じ方を読み取る。	
	11月	羅生門 ・小説の構成を知り、場面ごとに登場人物の心情の変化を読み取る。	
12月	五十歩百歩 蛇足 ・故事成語の元になったエピソードを漢文で読み、どのような教訓を得ることができるか考える。	発表・報告	
	秋のうた／冬のうた ・詩歌を読み味わい、好きな人物や作品について調べてまとめ、発表する。		
3 学 期	1月	ことばは光 ・筆者の経験を読み、点字や手話について考える。	授業態度 指名音読 学習ノート提出 定期考査 振り返りシート 発表・報告
	2月	伊勢物語 ・歌物語について学び、本文の中で和歌が果たしている役割を考える。	
	3月	論語 ・孔子や『論語』について知り、学問と人生について自分の考えを深める。 夢十夜 ・近代の文学作品を読み、感想を話し合う。	

学習の方法	授業は、プリントを配付し、ホワイトボードに映すとともに重要事項を板書していく形式で行う。課題は必ず自分で解き、授業には教科書・ノート・学習ノートを持参すること。すべての学習の基礎である「言葉」の実用面だけでなく文化面にも注目し、教養を深めて幅広い語彙を持てるようにしよう。
-------	--

備考	・金曜日のSHRで漢字テスト(全20回、テキストは「常用漢字の級別学習」)を行う。
----	---